

単位数／相当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高1年 3名		ワークシート

年間目標			(知及技) 知識及び技能	効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を見つけるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。(高1段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	身近な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。(高1段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。(高1段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	4	(知及技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びPC等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みをしり、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身につけることができる。Aア(ア)	(知・技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びPC等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みをしり、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を習得しようとする。	・情報と私たちの生活 (1) ・情報機器の便利さと発展 ・情報機器の発展の歴史	・コンピュータの発達と私たちの生活の変化について調べる。 ・なぜ、現代に情報機器が必要なのか考える。	国語、数学、社会、 職業
	5月	8	(知及技) 情報に関する身近で基本的な、法規や制度、情報セキュリティについて知ることができる。Aア(イ)	(知・技) 情報に関する身近で基本的な、法規や制度、情報セキュリティについて理解しようとする。	・情報機器の入出力について ・様々な法令上の規制について	・機器の名前や用途の説明 ・関連動画を視聴し、生徒同士で議論する。	国語、数学、社会、 職業
	6月	8	(思判表力) 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について知ることができる。Aア(ウ)	(思・判・表) 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について知ろうとする。	・正しくしく情報機器を活用してみよう ・もし、情報機器が無ければ・・・感謝の心	・ワードエクセルの入力について ・情報機器が現代に無ければどうなる？	国語、数学、社会、 英語、職業
	7月	4	(学・人) 1学期の学習を振り返り、2学期に向けた職業科との連携に向けた課題を見出すことができる。	(主学) 1学期の学習を振り返り、2学期に向けた職業科との連携に向けた課題を見出す発言や態度が見られる。	・1学期のまとめ	・テスト等で学習の定着を確認し、次の目標を立てる。	国語、数学、社会、 英語、職業
2 学期	9月	8	(知及技) 身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その編成を踏まえて知ることができる。Bア(ア)	(知・技) 身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その編成を踏まえて理解しようとする姿勢が見られる。	・情報と私たちの生活 (2) ・インターネットからフリー素材のダウンロード ・AIで画像加工	・インターネットやメディアなどの情報から関心のある問題について調べる。 ・Copilotの活用	国語、社会、理科、 職業
	10月	8	(思判表力) 身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えること。Bイ(ア)	(思・判・表) 身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を実社会から考え、答えを出すことができる。	・情報と私たちの生活 (2) ・ポスター作成	・より良い解決方法について調べ、話し合う。 ・好きな活動に向けたPRポスターを作成をする。	
	11月	8	(思判表力) 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づき、表現の仕方を工夫すること。Bイ(ウ)	(思・判・表) 身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を実社会から考え、答えを出すことができる。	・文字入力の方法について ・ポスター作成	・ワープロ検定過去問で、入力の学習 ・生徒みんなで決めた目的達成に向けたPRポスター作成をする。	国語、数学、社会、 英語、職業
	12月	6	(学・人) 2学期の学習を振り返り、3学期への課題を見出すことができる。 (知及技) 情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について知ること。Cア(ア)	(主学) 2学期の学習を振り返り、3学期への課題を見出そうとしている。 (知・技) 情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について理解しようとする。	・2学期のまとめ ・基本的な情報漏洩の防止方法やデータの保護について	・テスト等で学習の定着を確認し、次の目標を立てる。 ・小まめな保存とデータの一括管理、離席の時注意の理解を理解する。	国語、数学、職業
3 学期	1月	4	(知及技) 身近なデータを蓄積、管理、提供する基本的な方法、情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について知ること。Cア(イ)	(知・技) 身近なデータを蓄積、管理、提供する基本的な方法、情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について理解しようとする。	・PC、iPad実習 ・エクセルシートを使って、顧客データの分析 ・データ分析の結果をパワーポイントで作成し、発表	・エクセルやプレゼンテーションソフトの特徴を教え、活用して自分の考えをわかりやすく伝え合う。	国語、社会、理科、 職業
	2月	8	(思判表力) データの収集、整理及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行することCイ(ウ)	(思・判・表) データの収集、整理及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行しようとする。	・PC、iPad実習 ・データの詳細部分をチェックする。	・データの入力やデータを読み解く力の基本的な力の育成。	国語、数学、社会、 英語、職業
	3月	4	(学・人) 1年間の学習を振り返り、次の学年への課題を見出すことができる。	(主学) 1年間の学習を振り返り、次の学年への課題を見出そうとしている。	・1年間のまとめ	・テスト等で学習の定着を確認し、次年度の目標を立てる。	国語、数学
留意点 引継等							

評価方法	・三観点の確認	・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢	・ポスターの仕上がり	・テスト
------	---------	-----------------------	------------	------

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高2年 2名		ワークシート

年間目標	(知及技) 知識及び技能		効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を見つけるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。(高I段階)				
	(思判表力) 思考力、判断力、表現力等		身近な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。(高I段階)				
	(学・人) 学びに向かう力、人間性		身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。(高I段階)				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	4	(知及技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びPC等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みをしり、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身につけることができる。Aア(ア)	(知・技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びPC等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みをしり、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を習得しようとする。	・情報と私たちの生活(1) ・情報機器の便利さと発展 ・情報機器の発展の歴史	・コンピュータの発達と私たちの生活の変化について調べる。 ・なぜ、現代に情報機器が必要なのか考える。	国語、数学、社会、職業
	5月	8	(思判表力) 情報に関する身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報諸ルなどについて考えること。Aイ(イ)	(思・判・表) 情報に関する身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報諸ルなどについて考えようとする。	・情報と私たちの生活(1) ・情報機器の入出力について ・様々な法令上の規制について	・情報機器の正しく活用するために必要なスキルの向上。 ・なぜ、法令上の規制がかかっているのか考える。	国語、数学、社会、職業
	6月	8	(思判表力) 身近にある情報や情報技術の活用について考えること。Aイ(ウ)	(思・判・表) 身近にある情報や情報技術の活用について考えようとする。	・情報機器の身近な活用について ・もし、情報機器が無ければ・・・感謝の心。	・ワードエクセルの入力について ・情報機器が現代に無ければどうなる？	国語、数学、社会、英語、職業
	7月	4	(学・人) 1学期の学習を振り返り、2学期に向けた職業科との連携に向けた課題を見出すことができる。	(主学) 1学期の学習を振り返り、2学期に向けた職業科との連携に向けた課題を見出す発言や態度が見られる。	・1学期のまとめ	・テスト等で学習の定着を確認し、次の目標を立てる。	国語、数学、社会、英語、職業
2 学期	9月	8	(知及技) 身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その編成を踏まえ知ることができる。Bア(ア)	(知・技) 身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その編成を踏まえ理解しようとする。	・インターネットからフリー素材のダウンロード ・AIで画像加工	・ネットやメディアなどの情報から関心のあ問題について調査 ・Copilotの活用	国語、社会、理科、職業
	10月	8	(思判表力) コミュニケーションの目的に合わせて、必要な情報が伝わるような情報デザインを考えること。Bイ(イ)	(思・判・表) コミュニケーションの目的に合わせて、必要な情報が伝わるような情報デザインを考える姿勢が見られる。	・情報と私たちの生活(2) ・ポスター作成	・より良い解決方法について調べ、話し合う。 ・好きな活動に向けたPRポスターを作成をする。	
	11月	8	(思判表力) 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づき、表現の仕方を工夫すること。Bイ(ウ)	(思・判・表) 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づき、表現の仕方を工夫しようとする。	・文字入力の方法について ・ポスター作成	・ワープロ検定過去問で、入力の学習 ・生徒みんなで決めた目的達成に向けたPRポスター作成をする。	国語、数学、社会、英語、職業
	12月	6	(学・人) 2学期の学習を振り返り、3学期への課題を見出すことができる。 (知及技) 情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について知ること。Cア(ア)	(主学) 2学期の学習を振り返り、3学期への課題を見出そうとしている。 (知・技) 情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について理解しようとする。	・2学期のまとめ ・基本的な情報漏洩の防止方法やデータの保護について	・テスト等で学習の定着を確認し、次の目標を立てる。 ・小まめな保存とデータの一括管理、離席時の注意の理解を理解する。	国語、数学
3 学期	1月	4	(知及技) 身近なデータを蓄積、管理、提供する基本的な方法、情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について知ること。Cア(イ)	(知・技) 身近なデータを蓄積、管理、提供する基本的な方法、情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について理解しようとする。	・PC、iPad実習 ・エクセルシートを使って、顧客データの分析 ・データ分析の結果をパワーポイントで作成し、発表	・エクセルやプレゼンテーションソフトの特徴を教え、活用して自分の考えをわかりやすく伝え合う。	国語、社会、理科、職業
	2月	8	(思判表力) データの収集、整理及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行することCイ(ウ)	(思・判・表) データの収集、整理及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行しようとする。	・PC、iPad実習 ・データの詳細部分をチェックする。	・データの入力やデータを読み解く力の基本的な力の育成。	国語、数学、社会、英語、職業
	3月	4	(学・人) 1年間の学習を振り返り、次の学年への課題を見出すことができる。	(主学) 1年間の学習を振り返り、次の学年への課題を見出そうとしている。	・1年間のまとめ	・テスト等で学習の定着を確認し、次年度の目標を立てる。	国語、数学
留意点 引継等							

評価方法	・ 三観点の確認 ・ 入力スピード ・ ポスターの仕上がり ・ テスト
------	--

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高3年 1名		ワークシート

			(知及技) 知識及び技能	効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身につけるとともに、情報社会と人との関わりについて理解する。（高2段階）			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	身近な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。（高2段階）			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	身近にある情報や情報技術を適切に活用すると共に、情報社会に参画しようとする態度を養う。（高2段階）			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学 期	4月	5	(知及技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びPC等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身につけること。Aア（ア）	(知・技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びPC等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身につけようとする。	・情報機器の便利さと発展 ・情報機器の発展の歴史 ・情報通信システム	・コンピュータの発達と私たちの生活の変化について調べる。 ・なぜ、現代に情報機器が必要なのか考える。	国語、数学、社会、 職業
	5月	8	(思判表力) 情報に関する身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を捉え、考えること。Aイ（イ）	(思・判・表) 情報に関する身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を捉え、考えようとする。	・情報機器の入出力について ・様々な法令上の規制と罰則について	・情報機器の正しく活用するために必要なスキルの向上。 ・なぜ、法令上の規制がかかっているのか、罰則についても考える。	国語、数学、社会、 職業
	6月	8	(知及技) 身近にある情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の在り方について考えること。Aウ（ウ）	(知・技) 身近にある情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の在り方について考えようとする。	・情報機器の身近な活用について ・情報機器の扱い方	・ワードエクセルの入力について ・情報機器が現代に無ければどうなる？	国語、数学、社会、 英語、職業
	7月	5	(学・人) 1学期の学習を振り返り、2学期に向けた職業科との連携に向けた課題を見出すことができる。	(主学) 1学期の学習を振り返り、2学期に向けた職業科との連携に向けた課題を見出す発言や態度が見られる。	・1学期のまとめ	・テスト等で学習の定着を確認し、次の目標を立てる。	国語、数学、社会、 英語、職業
2 学 期	9月	8	(知及技) 身近なメディアとコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて理解すること。Bア（ア）	(知・技) 身近なメディアとコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて理解しようとする。	・インターネットからフリー素材のダウンロード ・画像の取り込み ・AIで画像加工	・ネットやメディアなどの情報から関心のある問題について調査 ・Copilotの活用	国語、社会、理科、 職業
	10月	8	(思判表力) コミュニケーションの目的に合わせて、適切かつ効果的な情報デザインを考えること。Bイ（イ）	(思・判・表) コミュニケーションの目的に合わせて、適切かつ効果的な情報デザインを考えようとする。	・ポスター作成	・より良い解決方法について調べ、話し合う。 ・好きな活動に向けたPRポスターを作成をする。	
	11月	8	(思判表力) 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づいて表現し、振り返り、表現を見直すこと。Bウ（ウ）	(思・判・表) 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づいて表現し、振り返り、表現を見直すこととする。	・文字入力の方法やタイピングについて ・ポスター作成	・ワープロ検定過去問で、入力の学習。 ・生徒みんなで決めた目的達成に向けたPRポスター作成をする。	国語、数学、社会、 英語、職業
	12月	7	(学・人) 2学期の学習を振り返り、3学期への課題を見出すことができる。 (知及技) 情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について知ること。Cア（ア）	(主学) 2学期の学習を振り返り、3学期への課題を見出そうとする。 (知・技) 情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について理解しようとする。	・2学期のまとめ ・基本的な情報漏洩の防止方法やデータの保護について	・テスト等で学習の定着を確認し、次の目標を立てる。 ・小まめな保存とデータの一括管理、離席時の注意の理解を理解する。	国語、数学
3 学 期	1月	5	(知及技) 身近なデータを蓄積、管理、提供する基本的な方法、情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について理解すること。Cア（イ）	(知・技) 身近なデータを蓄積、管理、提供する基本的な方法、情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について理解しようとする。	・PC、iPad実習 ・エクセルシートを使って、顧客データの分析 ・データ分析の結果をパワーポイントで作成し、発表	・エクセルやプレゼンテーションソフトの特徴を教え、活用して自分の考えをわかりやすく伝え合う。	国語、社会、理科、 職業
	2月	8	(学・人) 1年間の学習を振り返り、社会人として情報活用に関する課題を見出すことができる。	(主学) 1年間の学習を振り返り、社会人として情報活用に関する課題を見出そうとする。	・1年間のまとめ	・テスト等で学習の定着を確認し、次年度の目標を立てる。	国語、数学、社会、 英語、職業
留意点 引継等							
評価方法			・三観点の確認 ・入力のスピード ・ポスターの仕上がりがり ・テスト				